

工作機械工業 収益状況集計

(2021年度 第3四半期)

会員企業のうち2021年2月末迄に2021年度第3四半期決算を公表している専業比率30%以上の上場企業15社を集計。調査対象企業における専業比率は83.4%。なお、今期は専業比率が30%以下の1社を対象外とし、前年度から1社減の15社で集計した。

1. 連結決算の概要

表1 連結決算の概要 (15社)

(単位：百万円・%)

	21年度	21年度	21年度	21年度	前年同期比	20年度
	I期	II期	III期	I~III期		I~III期
売上高	148,452	168,811	184,925	502,188	+33.9	375,129
売上総利益	40,754	49,547	55,156	145,457	+49.5	97,301
売上総利益率	27.5	29.4	29.8	29.0		25.9
営業利益	5,648	12,458	14,186	32,292	+2,926.4	1,067
営業利益率	3.8	7.4	7.7	6.4		0.3
経常利益	8,117	13,551	15,460	37,128	+814.0	4,062
経常利益率	5.5	8.0	8.4	7.4		1.1
当期利益	5,338	9,470	11,378	26,186	-	△1,485
当期利益率	3.6	5.6	6.2	5.2		△0.4
総資産	1,023,541	1,048,228	1,085,905	1,085,905	+12.9	961,794
純資産	615,420	641,159	652,081	652,081	+10.8	588,357
自己資本比率	60.1	61.2	60.0	60.0		61.2
自己資本 当期純利益率 (ROE)	3.5	5.9	7.0	5.4		△0.3

(注) 自己資本当期純利益率 (ROE) は年率換算値

表2 損益状況一覧 (連結・I~III期計・前年同期比) (15社)

(単位:社)

	増 加	減 少	合 計
売上高	14	1	15
売上総利益	14 (0)	1 (0)	15 (0)
営業利益	13 (1)	2 (0)	15 (1)
経常利益	14 (1)	1 (0)	15 (1)
当期利益	13 (2)	2 (0)	15 (2)

※()内の数字は、赤字企業数。赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」となる

2. 2021年度通期見通しの概要

表3 【第3四半期時点】連結業績予想の概要（15社）

（単位：百万円・％）

	2021年度通期見通し			2020年度実績
	第2四半期時点	第3四半期時点	前年度比	金額、比率
売上高	687,263	693,713	+28.8	538,448
営業利益	44,757	47,017	+403.1	9,345
営業利益率	6.5	6.8		1.7
経常利益	48,208	50,268	+254.5	14,179
経常利益率	7.0	7.2		2.6
当期利益	34,142	35,442	+700.4	4,428
当期利益率	5.0	5.1		0.8

表4 【第3四半期時点】連結業績予想の増減（売上高、経常利益）（15社）

通期 (対前年度比)	増収増益	13社 (2社増)	増収減益	1社 (2社減)
	減収増益	1社 (1社増)	減収減益	0社 (1社減)

※（ ）内は、第2四半期時点からの増減社数

◎第2四半期時点からの修正理由

【売上高、経常利益とも上方修正 …5社】

- ・工作機械関連事業については、来期売上を見込んでいた海外システム案件の前倒しを含め海外売上が増加したこと、為替レートが想定よりも円安に推移したことが要因となり、前回発表予想に対し大幅に業績が回復し、一転黒字を見込む。部品加工関連事業については、一部客先の生産調整の影響があるものの、第4四半期は市場の需要増による売上増加を見込み、通期損益は前回発表予想に対して若干の増益を見込む。
- ・国内外ともに、ホブ盤の販売が好調なことに加え、ラップ盤・ポリッシュ盤の部品の売上が計画を上回って推移しているため、通期の業績予想を上方修正。なお、世界的な新型コロナウイルス変異株の急速な感染拡大により、部材の調達や貨物の輸送において不透明な要素もあるため、今後、その状況による影響が出る場合は速やかに公表する。
- ・売上高については、工作機械事業が堅調に推移したことにより、予想を上回る見込みとなった。損益についても、売上高が予想を上回ったことによる増収効果により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が予想を上回る見込み。
- ・部材の調達状況や物流の遅延など不透明な要素は残るものの、特機事業はフードデリバリー向けの販売が好調であることに加え工作機械事業も幅広い業種で市況が好調であり、第3四半期連結累計期間の実績や最近の業績動向等、現時点で入手可能な情報および予測に基づき通期の業績を見直した結果、売上、利益ともに前回予想を上回る見込み。
- ・受注状況の回復を受け、当初の業績予想を上回る見込みとなったことから、上方修正。

【売上高、経常利益とも下方修正 …1社】

- ・工作機械業界においては徐々に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市況が改善され受注環境も回復基調となっている。しかし、当社においては近年の業績不振や不適切な会計処理及び不正行為に起因する決算の遅れなどにより当社の信用が著しく毀損したことなどから、思うように受注を伸ばすことができず、また要素部品不足による納期の長期化などにより売上が低迷し、当初予想より減収見込みとなった。また長期滞留品の廃棄引当や一年を超える在庫の廉価販売と減収に伴

う利益減少分を合わせ営業利益の下方修正、また2022年2月1日に行った第三者割当増資に関する費用等の発生が見込まれるため、経常利益も下方修正し、親会社株主に帰属する当期純利益が大幅に下振れする見込み。

3. 工作機械事業セグメントの概要

表5 工作機械事業セグメントの概要 (15社)

(単位:百万円・%)

	21年度		20年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	416,367	+38.4	300,780
営業利益	27,104	—	△356
営業利益率	6.5		△0.1
専業比率	82.9		80.2

表6 【参考】工作機械事業セグメントの概要 (25社)

(単位:百万円・%)

	21年度		20年度 I～III期
	I～III期	前年同期比	
売上高	582,130	+35.3	430,164
営業利益	40,898	+1,771.8	2,185
営業利益率	7.0		0.5
専業比率	31.7		24.9

※表5の対象企業15社に加え、セグメント情報を公表している
専業比率30%以下の会員企業10社を加えた25社で集計

【調査対象会員企業 (順不同)】

(専業比率30%以上の集計対象企業)

エンシュウ株式会社
 浜井産業株式会社
 豊和工業株式会社
 小池酸素工業株式会社
 株式会社牧野フライス製作所
 株式会社岡本工作機械製作所
 OKK株式会社
 オークマ株式会社
 西部電機株式会社
 株式会社ソディック
 スター精密株式会社
 株式会社太陽工機
 高松機械工業株式会社
 株式会社滝澤鉄工所
 株式会社和井田製作所

(専業比率30%以下の集計対象企業)

シチズンマシナリー株式会社 (シチズン時計株式会社)
 株式会社FUJI
 株式会社不二越
 倉敷機械株式会社 (倉敷紡績株式会社)
 黒田精工株式会社
 ミロク機械株式会社 (株式会社ミロク)
 株式会社三井ハイテック
 株式会社オーエム製作所 (ダイワボウホールディングス)
 株式会社桜井製作所
 芝浦機械株式会社